

外科（心臓血管外科、肝胆膵外科、消化管・内分泌・小児外科、呼吸器・乳腺外科、形成外科）

■**診療科長** 中村都英（心臓血管外科）、七島篤志（肝胆膵外科）、富田雅樹（呼吸器・乳腺外科）、池田拓人（消化管・内分泌・小児外科）、伊東大（形成外科）

■**研修実施担当者** 市原明子、落合昂一郎、伊東大



教育施設として認定を受けている主な学会

日本外科学会、日本心臓血管外科学会（ステントグラフト実施施設）、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝胆膵外科学会、日本胆道学会、日本内分泌甲状腺外科学会、日本乳癌学会、日本小児外科学会、日本形成外科学会、日本熱傷学会 ほか

… 上記各学会の専門医制度・専門医認定・高度技能医修練施設

診療科の概要

宮崎大学医学部外科学講座は平成 27 年 4 月 1 日に旧第一外科と旧第二外科の講座が再編されひとつの大きな講座としてスタートしました。私たちの外科学講座は大きく、1) 心臓血管外科、2) 呼吸器・乳腺外科、3) 肝胆膵外科、4) 消化管・内分泌・小児外科、そして5) 形成外科の5分野で構成され、それぞれ分野長ならびに診療科長をトップに運営されています。それぞれの分野が一般診療から高度な先進医療まで幅広く大学診療を展開しています。大学病院には一般病院では手控えられる合併症を有する症例や高難度な医療が求められますが、一人一人の患者の診療を丁寧にいき、皆のチームワークでの医療が実践されています。

宮崎県内のみならず日本全国においても、すべての分野がまとまって外科医療を行っている施

設は大変少なく、宮崎大学外科学講座はまさに実力のある若手ならびに専門外科医を育てる環境に大変適しています。また大学病院を基幹病院として連携する連携病院においても実践的な密度の濃い外科診療が経験でき、将来の専門医や指導医を早期に取得できることにつながり、将来の臨床医のキャリアアップを目指すことができる魅力ある環境が提供されます。外科医には特別な器用さや体力も、精神力も必要なく、ただひたすら目の前の患者を自らの手で治す純粋な気持ちに満ち溢れていればあれば問題ありません。

さあ、宮崎県の医療を支える、夢と希望にあふれたみなさん、ともに助け合い汗を流しながら、働き甲斐のある人生のスタートを外科講座で踏み出しませんか！私たちは常にあなた方を待っています。

研修症例の特徴

大学病院では、一人の若手医師に負担が来ることなく複数のスタッフのチームワークによって、診療分野ごとにグループ医療が行われています。そこでは綿密なコミュニケーションにより、研修医や専攻医（修練医）にとっても、指導医より多くの経験を積み、臨床医の基本となる知識や手技を学ぶことができます。研修期間中には手術技術のみならず臨床医にとって基本となる検査や治療技術（中心静脈などのルート確保、開胸・開腹・胸骨切開、胃管挿入、救命手技など）を習得できます。

各診療科では下記の疾患を学ぶことができます。

心臓血管外科：冠動脈バイパス手術、心筋梗塞後合併症手術、大動脈瘤手術、心臓弁膜症手術、低侵襲心臓手術、先天性心疾患手術、末梢血管手術ほか。

呼吸器・乳腺外科：さまざまな肺切除術、縦隔手術、胸壁・胸膜手術、気道狭窄に対する治療、

さまざまな乳腺手術やマンモグラフィー読影ほか。

肝胆膵外科：さまざまな肝切除術、膵頭十二指腸切除や膵体尾部切除術、肝腫瘍凝固治療、胆嚢・胆管手術、衝撃波破碎治療、内視鏡的胆道・膵の検査や治療、脾臓手術ほか

消化管・内分泌・小児外科：胃・小腸・大腸の手術、胃瘻・腸瘻造設術、虫垂手術、甲状腺手術、ヘルニア修復術、さまざまな新生児・小児疾患手術ほか

形成外科：創傷治癒、顔面外傷・骨折、熱傷、外傷・熱傷後の変形、頭蓋・顔面・体幹・四肢先天的奇形、皮膚良性腫瘍、難治性皮膚潰瘍、悪性腫瘍切除後の再建、その他、嵌入爪・顔面神経麻痺・眼瞼下垂・腋臭症など体表面に関する手術ほか。

研修目標

【一般目標 (GIO)】

外科領域における初期診断や治療に必要な基本的技術を習得する。

術前・術後管理（呼吸・循環・凝固系などの全身管理、縫合創や皮膚潰瘍などの局所管理、合併症への対処など）を学習する。

術前・術後検査の手技を習得し、手術の外科的処置を学び、助手、術者を経験する。

【個別行動目標 (SB0s)】

- 1) 基本的な身体診察（頸・胸腹部・四肢など全身の診察、聴診・触診、カルテ記載、小児診察ほか）
- 2) 基本的な臨床検査（超音波～腹部・心臓・頸部・乳腺、気管支・消化管の内視鏡検査や前処置、消化管・血管造影、マンモグラフィー読影ほか）
- 3) 基本的な治療手技（抗生剤の種類と使い方、末梢・中心静脈ルートの確保、胸腔・腹腔穿刺ドレナージ、ICU 管理や循環作動薬の薬効や副作用を理解し濃度設定と指示、気道確保や挿管・人工呼吸・心マッサージ・除細動など救命処置ほか）
- 4) 基本的な外科手術手技（清潔・不潔の理解、手洗い・ガウンテクニック、皮膚切開・縫合、手術器具の使い方、創部消毒とガーゼ交換、ドレーン留置、開腹・開胸、閉腹・閉胸、小手術・中手術の助手、内視鏡下手術におけるカメラ操作、個人のやる気に応じた手術術者（虫垂切除術、ヘルニア根治術、胆嚢摘出術など）ほか）
- 5) 周術期チーム医療に参加し、毎日の合同回診で患者とのコミュニケーションを図る。術前後症例検討でカンファレンスに参加し、症例提示やプレゼンテーション能力を向上する。
- 6) 外科医の倫理を学び、人間力を向上させ、個々の社会性のレベルアップに努める。

研修方略

【指導医および指導体制】

教官・先輩の担当医師による熱いマンツーマンおよびグループ指導を受けることができます。上級医たちと患者をしっかりと把握し診療に参加できます。

週に1回以上、臓器別グループのカンファレンスがあり、細かな症例検討や勉強会を行います。

ほとんどの教官が外科指導医、消化器外科指導

医・専門医の資格を有し、入院患者の検査、処置、術前術後管理、手術手技の熱い指導を受けられます。

また、学会発表、論文作成の指導も積極的で、研修医の先生たちにも研究会や地方会、やる気があれば国内主要学会で発表してもらいます。

【勉強会やカンファレンスなどの研修教育活動】

週1回の外科講座の全体カンファレンス～互いの交流が行われます

週2回以上の術前術後カンファレンスや勉強会

週1回以上の臓器・分野別カンファレンス

他科と合同の院内の臓器別カンファレンス

ドライラボ・ウエット動物ラボ・内視鏡ラボ、やる気のある人は動物生体ラボ（Miyazaki Advanced New General surgery Of University；**MANGOU プロジェクトの発足**）

外科の研究カンファレンス（大学院生）、内鏡視下手術研修会

充実した外科学講座のホームページ、懇親会の場での社会的交流

【週間スケジュール】

	心臓血管外科	呼吸器・乳腺外科	肝胆膵外科	消化管・内分泌・小児外科	形成外科
月	心カテ検査・回診・ 検討会	外来・気管支内視鏡・ 回診・検討会	手術	外来・検査・回診・検討会・ 手術	外来・手術
火	手術	手術・外来	検討会・回診・外来・ 肝胆膵の検査	外来・検査・回診・検討会・ 手術	外来・手術
水	ハートチームカンファレンス・ 外来・検討会、	呼吸器内視鏡・検討会	手術	外来・検査・手術・ 術前後検討会	手術
木	手術	手術・外来	検討会・回診・外来・ 肝胆膵の検査	外来・検査・手術・ 消化管検討会	外来
金	手術	手術・外来	勉強会・肝胆膵の検 査・手術・検討会	勉強会・外来・ 検査・手術	手術

研修評価

自己評価とオンライン卒後臨床研修評価システム（EP0C）による研修実施内容の評価（観察記録）

個人のやる気に応じて手術の術者や国内学会発表を経験できます。

宮崎大学の外科にはすべての分野があり、外科必修の2ヶ月間で希望に合わせて研修することが可能です。輸液メニューの作成や、呼吸・循環動態を含めた周術期管理の研修はもちろんのこと、開腹や開胸、縫合といった外科の基本的な手技が身につくように積極的に手術に参加してもらっています。1年次の2ヶ月間で物足りない場合は2年次の研修でさらなるスキルアップも望めます。さらに、手術前にほとんどの症例で施行しているCT検査などの読影も自分でできるようになることを目標としています。なるべく多くの手術に参加し、その醍醐味を体感してもらえれば幸いです。

毎週開催している外科の合同カンファレンスでは、様々な分野の手術症例の呈示があったり、悩ましい症例を多角的に検討したりしており、いつも新しい知見が得られて勉強になります。

新しい「外科」となって3年が過ぎようとしています。すべての外科の分野が一丸となって診療しているところが宮崎大学の外科の特徴であり、誇らしい点でもあります。ぜひとも皆さんと一緒に研修できることを楽しみにしています。